



歌人茂吉と上山

—— 齊藤茂吉記念館 ——

明治天皇がご巡幸の折、上山の郊外、行在所に立ち寄られ、蔵王の霊峰をお眺めになったという、みゆき公園に上山の生んだ歌聖齊藤茂吉を永遠に記念する館が作られました。茂吉記念館は、昭和四十三年九月に開館、茂吉の遺稿、遺墨、書画や同時代の文人の遺墨などがあり、茂吉の偉業を偲ぶことができます。又、来年は生誕百年を迎えますので、市はもとより県全体あげて盛大に茂吉生誕百年祭を行なう予定です。

茂吉の足跡

明治十五年五月十四日上山市金瓶に生まれ、十五才の時上京、齊藤紀一（青山脳病院長）の養子となる。東京帝大医科を経て精神病学を専攻し、一高時代正岡子規の短歌にひ



—— 発行所 ——

山形県理容環境
衛生同業組合
〒990 山形市清住町3-2-65
電話 0236-45-3525
発行者 富樫富太郎
編集者 保坂菊治
購読料 1部10円 毎月1回発行
組合員の購読料は賦課金の中に含まれて居ります。

かれ作家を志し伊藤佐千夫に師事、以後『アララギ』の編集にたずさわる。
長崎医学専門学校教授の時、文部省在外研究員とし渡欧ドイツにて研究、大正十三年には医学博士、昭和二年青山脳病院院長となる。

作歌は「万葉集」を精神基盤とし、「短歌写生の説」の実践さらに「実相観入」を提唱、追求一万五千余首の作品を残す。その間芸術院会員に選ばれ、昭和十五年学士院賞、昭和二十六年文化勲章を授けられる。

昭和二十年郷里上山の金瓶に疎開、直後、東京の病院、自宅を空襲で失なう。その間、大石田（二藤部宅）に移り絵筆をとり日本画に親しむ。終戦後（昭和二十二年）帰京、昭和二十八年二月逝く。
享年七〇才、上山市金瓶の宝泉寺に分骨埋葬された。



短歌

みちのくの

蔵王山なみにる雲の
ひねもす動き
春たつらしも

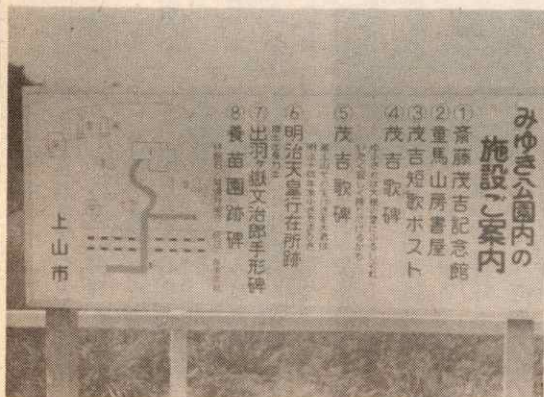
最上川

逆白波のたつまでに
ふぶくゆふべと
なりにけるかも

以上文章につき関係各位の
協力をえました。

広報 上山支部

岡崎正之



理容業の許認可事項に関する

国会陳情を終えて

— 地元選出国會議員に

面接して現状を訴える —

山形県理容業環境衛生同業組合

理事長 富樫 富太郎

理容業界の命運をかける理容師の定義「理容の免許をうけた者でなければ理容の業をしてはならない」法第六条に

明記されている様に昭和二十二年法制定、施行された。又それ以前、日清戦争の勝利を博した明治三十四年当時、台湾等の統治の頃、荒廃した

世情といちじるしい衛生環境の不備とその知識水準の低下とあいまって、全国的に蔓延した皮膚病、とくに頭部疾患のいわゆる台湾ハゲ等の奇病があたかも当時の髪床（理容所）が媒介の根源の如く、サーベルの音をいかつかせ乍らその取締りがあったもので、警視庁管掌の理髪師、結髪師の衛生取締り規則が出来たのが初めて爾来今日迄、国民の衛生を守るために忠実に万進履行してきた本業界こそ、大

きな功績をのこしたと云えるのではなからうか。今日の社会に於て公衆衛生、個人衛生の向上、衛生思想の普及、並にその知識、実践は目をみはる高く高い水準に達したのである。誠に倅せなことである。従ってこれらも本業界のもたらした、長年の衛生営業としての努力、貢献を見逃してはならないのではあるまいか。

戦後、幾多の変遷を経て、

国民の勤勉と創意工夫の生産とにより現在の経済成長をもたらして来たのは事実でありましょう。然し乍ら過剰生産は対輸出の圧迫をよぎなくされ、減量生産では労働攻勢の板ばさみ現象をうみ、高度成長から減速経済へと移行しなければならなくなりました。すなわち小さい政府の確立と

云う大義名分のもと、私共零細企業である理容業の基本的業権をおびやかそうとする、試験制度の廃止、更に又免許制度の廃止をもって業務独占を名称独占とし、技術とくに衛生知識の低下をまねく様な時代錯誤も甚しい限りといえましょう。私共はこうした行政改革には絶対反対しなければなりません。

山形理容同業組合は全理連と連絡をとりながら、この六月開会の定例県議会に対し、守谷相談役を通じて理容師法改悪絶対反対の陳情書を提出しましたところ、七月九日山形県議会はこれを万場一致で採決され、尚かつ内閣総理大臣、大蔵大臣、厚生大臣あてに意見書の提出があったことは、まことに有難いことで深謝の限りで御座います。

したがってこれら意見書と国会に對する陳情書をたずさえて、支部代表理事を以て県選出の国會議員の先生方を国会に訪問しての直訴の行動をおこしました。

八月二十三日、昨夜来の台風の最中、列車の運休、国道、県道の不通とのアクシデント、

各自の車で赤湯集合、マイクロバスをチャーターして福島まで……その福島から東北本線の運休後の一番列車に乗車、午前四時二十七分上野に無事到着した。

ねむい目をしばた、せながらあけきらぬ都路を代々木の全理連ビルに到着、早速、朝食ついで、白方理事長、中村事務局長ともども打合せの行事に入り、組合員の代表としてその負託にこたえなければと一段と真剣な面もちで国会へと向かった。かねてこの陳情団のうけ皿をつとめて頂いた阿部昭吾代議士は一昨日ブルガリアへ飛び立ったのは残念であった。しかし鹿野道彦代議士と阿部先生の秘書川原さん、それに一手引受けの早坂さんにはすっかり御世話になりました。

定刻の十時には衆議員第二議員会館、議員会議室を用意され、加藤、鹿野、近岡各代議士と自治大臣の安孫子、木村、渡辺、近藤、佐藤、隆矢各衆参議員の秘書の方々が出席され、……今般のこの陳情までの経過説明と、その趣旨に對する御理解を得るための私

の報告と併せて、このことに對する質疑応答などにより、各先生方の深い御理解と力づよい激励のことはを頂いたことは、ほんとに時宜の得た政治活動であったと……とくに「県議会の意見書」付の陳情団は山形県が初めてのケースとして全理連でも高く評価された所以でありましよう。

台風一過の東京は在京中、蒸し風呂の様な暑さで全理連の宿舎で挙げた幹杯も、総べてのアクシデントをはねのけての目的達成の喜びと更に前進と団結ある発展を約束しながらの満足感に浸れたのは何よりの収穫であったと思います。一泊二日の強行スケジュールを無事こなし且又それに協力してくれた秘書の方々、そして全理連の方、とくにこれに参加して頂いた支部代表の方々に深く感謝しながら、私の初任の責任を果し得たことに満腔の謝意をこめて御報告申しあげます。

組合員の皆さま、私共の業権は私共で守るためにつねに政治意識の高揚に関心をもちなければなりません。

暑い夏をおえて更に又組合員御一同の御健勝を心から祈念いたしまして、御報告いたします。

昭和五十六年八月三十日



野外スポーツ

及び

レクリエーション

天童支部婦人部もみじ会を発足以来四ヶ月余り経ちました。

スポーツを通して親睦を深め、日頃の運動不足を解消しようと東南村山教育事務所社会体育主事をおまねきして、誰でも出来るスポーツとして行っておりです。

八月は野外スポーツとして天童高原で行う事に成りました。去る八月二十四日台風十五

号の後なので心配致しましたが、すばらしい晴天に恵まれ台風が過ぎ去った後とは思えないしずかさ、天童駅九時半出発、マイクロバスで一路天童高原へと車は走り、あたりは雨に洗われた緑が一段と濃

さを増し、一面に広がる広大な山野に目を見張り、あつという間に高原ロッジ到着、思わず、すがすがしい空気を胸いっぱい吸いこんだ。初秋を思わせる様にトンボがスイスイと飛んでいる。思い思いのユニホーム姿で高原競技場に入る。

先に来ていた天童青年部野球の練習に一生懸命、婦人部は体育主事の指導で準備体操から始まり、輪投、ミニゴルフで入らない。一同大爆笑、全然入らないと昼食なしよ等の声飛びかう。あつという間に時間が過ぎ去った。皆心地良い汗を流した。

午後からは、ロッジで用意してくれた料理をかこみ部長の乾杯の音頭でのをうるおし、思い思いの雑談に花を咲かせ、手拍手と共に歌も出る。拍手喝采、明日へのはげみと、仕事にうるおいを与えてくれた。

今日(八月三十一日)は村山チームとの試合日でしたが雨、五月から十月迄に十試合を消化しなければならぬ長いロード戦ですが、天候には勝てず内陸地方が晴れても庄内では雨となり決行する事が出来ず、又ある日は朝五時に起きて寒河江まで行き試合もせず帰った事もあり、日程どうりには進まずビクトリイチ

藤島支部

野球部慰安会

チーム善戦しているのですが結果およばず、野球好きの集りとして和気あい／＼としてきたが、家では朝早く起されて弁当を作ったり、夜遅くまで留守をあずかる婦人連に迷惑を掛けてるとの事で、日頃の感謝の気持ちを、羽黒の小代温泉で慰安会を行い奥様方や後援の婦人連に野球部一同の気持ちを表す事が出来ました。

藤島支部

小林 信一



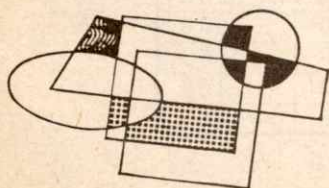
帰路のバスの中では、高原行きよさようならの歌声が流れ、別れおしと家路にと車は進む有意義ある楽しい一日であったと思います。

天童支部広報部

石沢 時子

撮影

小川 美智子



都道府県別理容所施設数の推移

資料一 厚生省「衛生行政業務報告」

各十二月末現在

都道府県	年	50	51	52	53	54
北海道		7,055	7,091	7,130	7,257	7,374
青森		2,713	2,745	2,759	2,777	2,790
岩手		2,894	2,913	2,919	2,943	2,959
宮城		3,176	3,225	3,238	3,178	3,191
秋田		3,103	3,157	3,157	3,191	3,164
山形		2,647	2,653	2,691	2,711	2,721
福島		3,237	3,267	3,300	3,314	3,344
茨城		3,539	3,593	3,629	3,675	3,730
栃木		2,528	2,381	2,570	2,588	2,601
群馬		2,315	2,316	2,223	2,231	2,241
埼玉		4,476	4,562	4,628	4,777	4,564
千葉		4,378	4,419	4,509	4,616	4,687
東京都		11,128	11,134	11,115	11,156	11,180
神奈川県		5,149	5,195	5,256	5,315	5,402
新潟		3,996	4,011	4,066	4,095	4,097
富山		1,500	1,476	1,480	1,471	1,480
石川		1,493	1,511	1,509	1,502	1,500
福井		1,179	1,183	1,178	1,186	1,192
山梨		1,059	1,063	1,057	1,052	1,064
長野		2,457	2,469	2,496	2,496	2,540
岐阜		2,570	2,600	2,614	2,658	2,671
静岡県		4,316	4,356	4,367	4,383	4,391
愛知		6,292	6,368	6,433	6,508	6,553
三重		2,555	2,572	2,475	2,515	2,508
滋賀		1,102	1,112	1,140	1,142	1,132
京都		2,413	2,429	2,454	2,481	2,493
大阪		8,157	8,196	8,210	8,341	8,403
兵庫		4,712	4,727	4,763	4,792	4,829
奈良		945	952	959	964	988
和歌山		1,608	1,626	1,664	1,663	1,678
鳥取		873	878	884	890	881
島根		1,222	1,226	1,222	1,221	1,222
岡山		2,193	2,243	2,258	2,269	2,286
広島		3,318	3,327	3,355	3,393	3,385
山口		2,192	2,175	2,138	2,099	2,115
徳島		1,362	1,374	1,389	1,392	1,404
香川		1,373	1,372	1,379	1,374	1,384
愛媛		2,484	2,486	2,498	2,527	2,553
高知		1,352	1,352	1,359	1,324	1,305
福岡		5,436	5,441	5,431	5,471	5,479
佐賀		1,121	1,111	1,099	1,097	1,091
長崎		2,125	2,128	2,140	2,157	2,142
熊本		3,017	2,872	2,890	2,874	2,861
大分		1,919	1,925	1,890	1,919	1,908
宮崎		1,871	1,904	1,929	1,900	1,930
鹿児島		2,565	2,589	2,566	2,580	2,563
沖縄		1,426	1,377	1,425	1,433	1,437
全国計		140,541	141,082	141,841	142,888	143,413